

**ZENRIN**

証券コード：9474

# 2020年3月期 第1四半期決算

2019年7月29日

株式会社ゼンリン

Maps to the Future

## 1. 2020年3月期 第1四半期決算概要

## 2. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

## 1. 2020年3月期 第1四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) セグメント情報
- 5) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

# 1-1)決算概要

## 2020年3月期 第1四半期決算のポイント

- 国内カーナビゲーション用データの販売は堅調に推移したものの、前期発生した受託データ販売の反動減等により、売上高、各利益ともに3期ぶり減収減益
- 業績予想に対しては概ね計画通りに進捗

(金額単位:百万円)

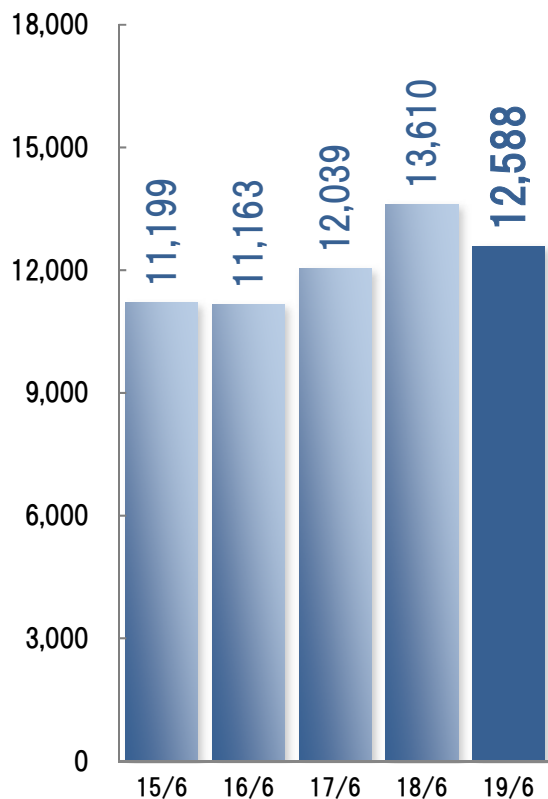
	2019年3月期 Q1実績	2020年3月期 Q1実績	前年同期比	増減率 (%)
売上高	13,610	12,588	△1,022	△7.5
営業費用	13,248	13,222	△26	△0.2
営業利益	362	△634	△996	—
営業利益率	2.7%	△5.0%	△7.7pt	—
経常利益	560	△390	△950	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	336	△640	△977	—

# 1-2)売上高・利益の推移

## 売上高

前年同期比

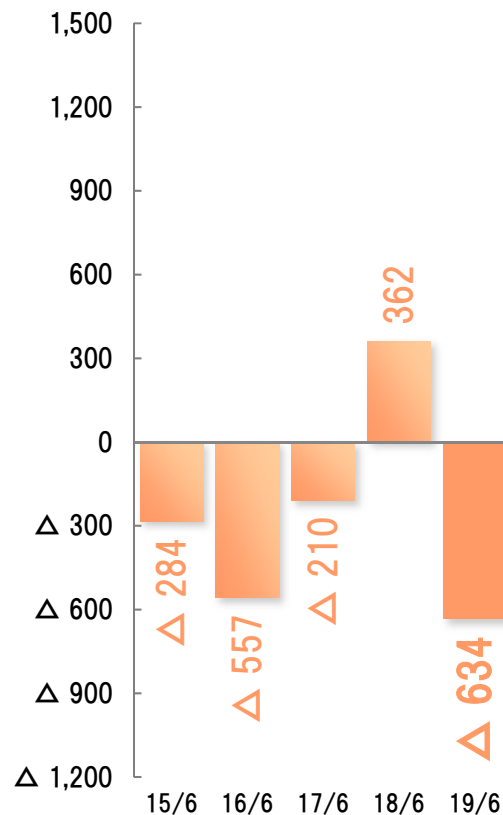
1,022減少 (△7.5%)



3期ぶり減収

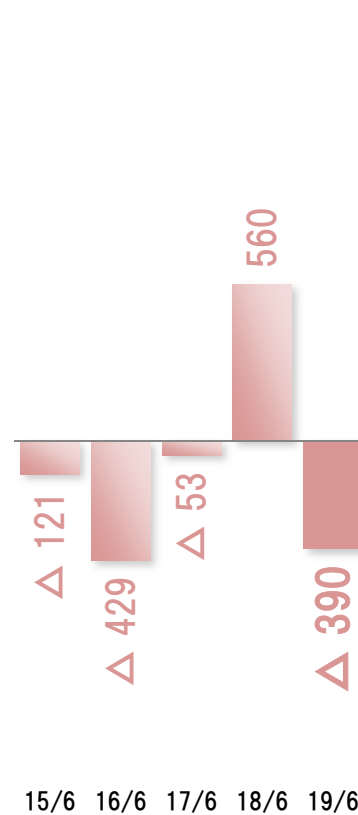
## 営業利益

996悪化 (—)



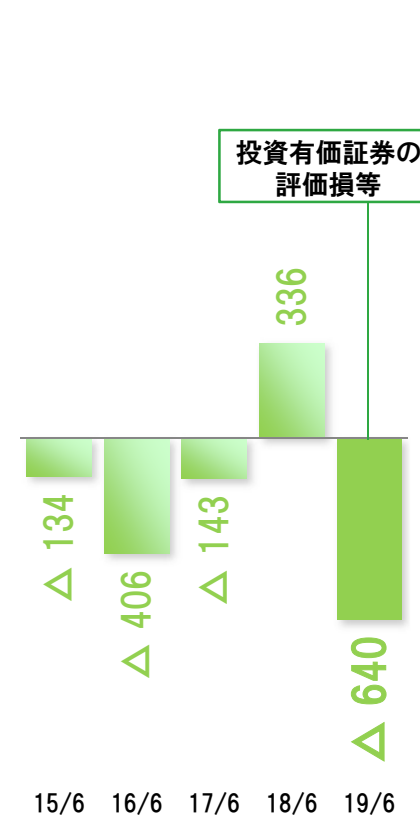
## 経常利益

950悪化 (—)



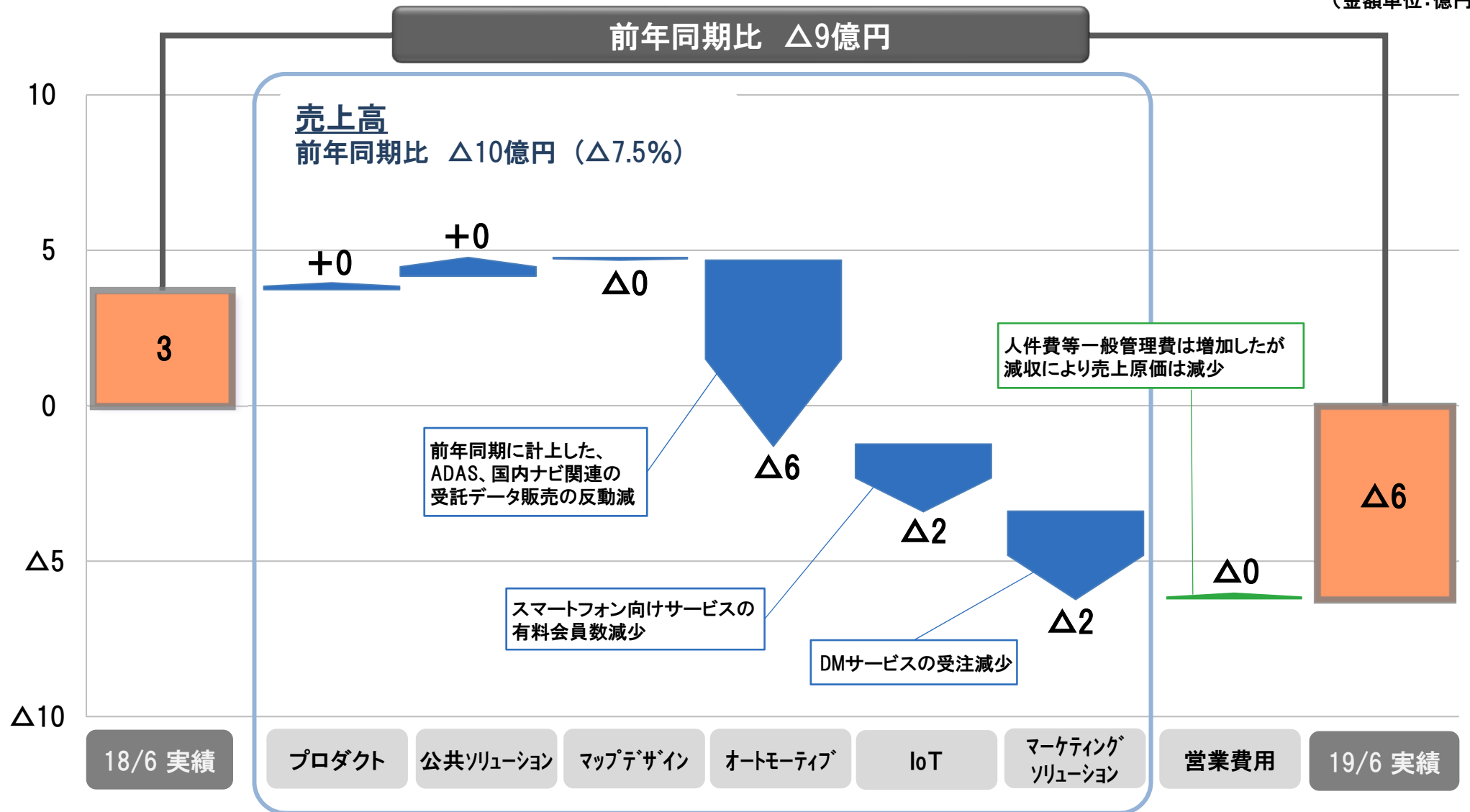
親会社株主に帰属する四半期純利益

977悪化 (—)



3期ぶり減益

# 1-3) 営業利益増減要因



# 1-4)セグメント情報

2020年3月期 第1四半期連結決算

売上構成  
比率

81.2%

## 1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳及び応用地図の製造・販売  
住宅地図データベース及びカーナビ用データの製造・販売  
インターネットサービス向け地図データの製造・販売  
スマートフォン向けサービスの提供



7.6%

## 2. 一般印刷関連事業

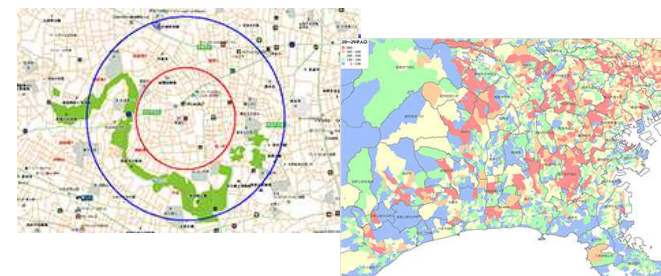
主要品目等：一般印刷物の製造・販売



11.2%

## 3. その他

主要品目等：マーケティングソリューションの提供  
仕入商品の販売



※当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

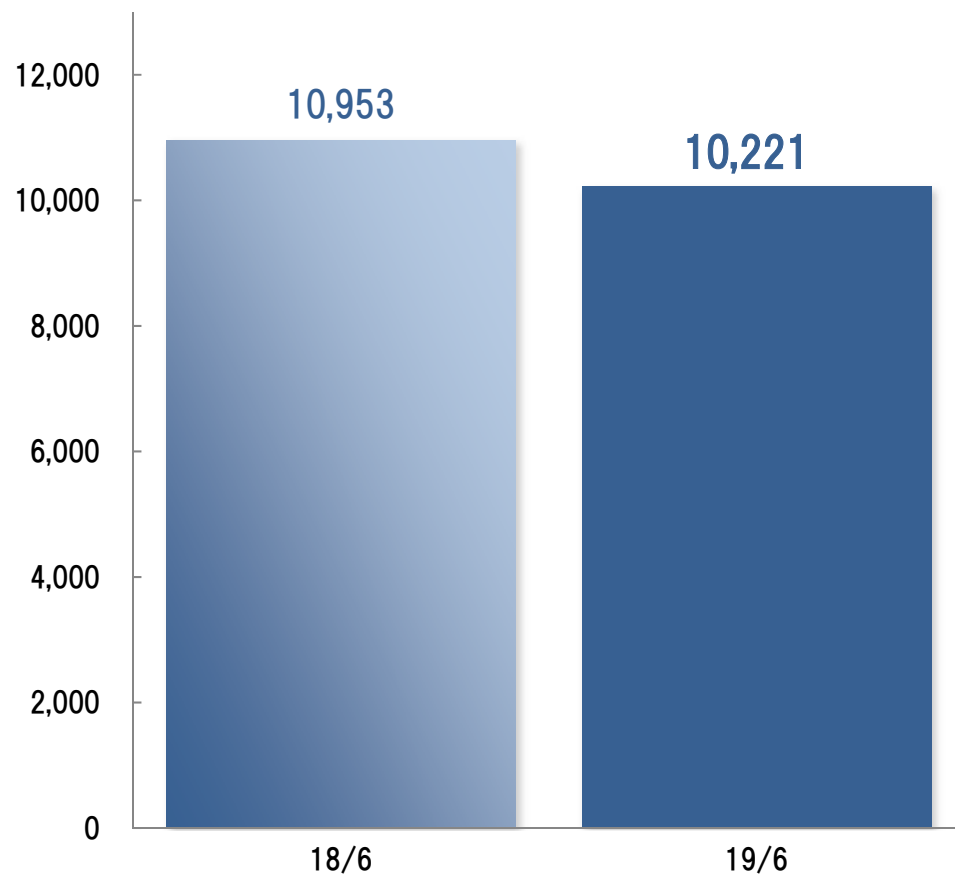
# 1-4)地図データベース関連事業

(金額単位:百万円)

## 売上高

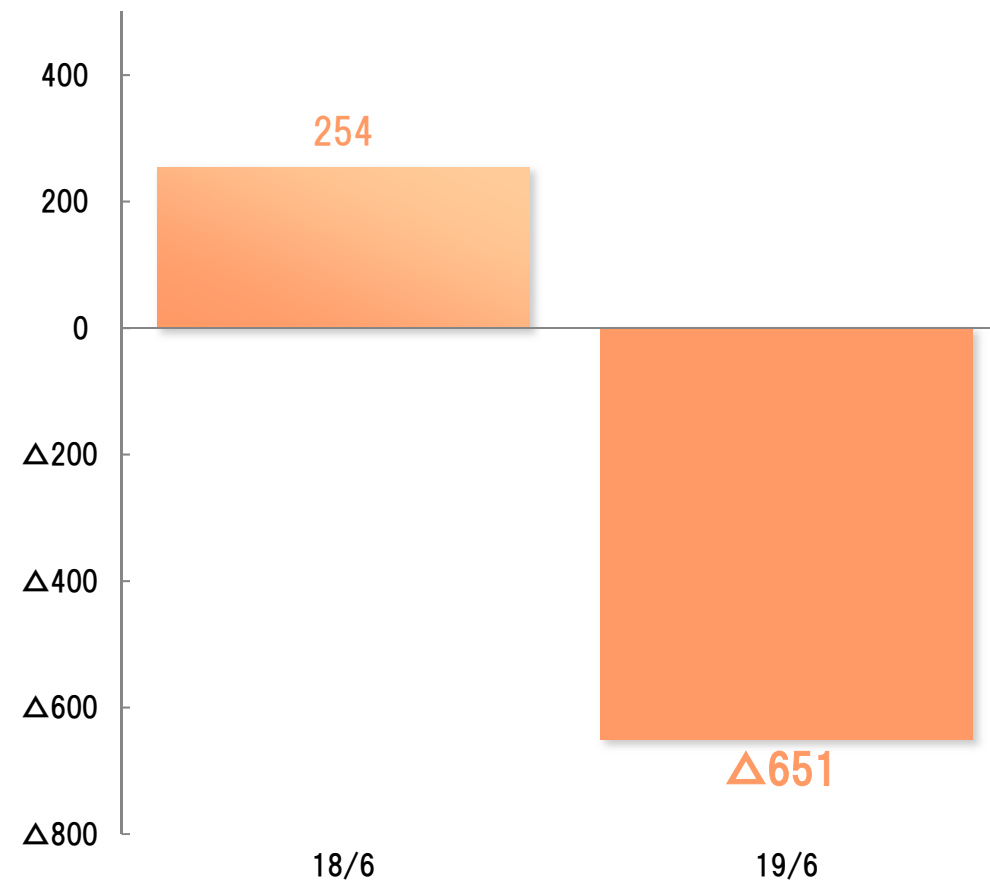
前年  
同期比

732減少 (△6.7%)



## 営業利益

905悪化 (一)



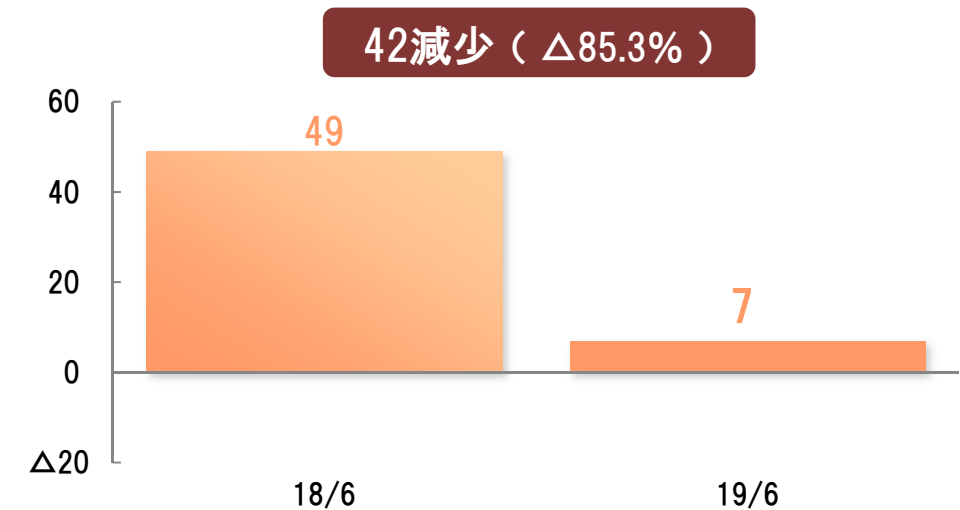
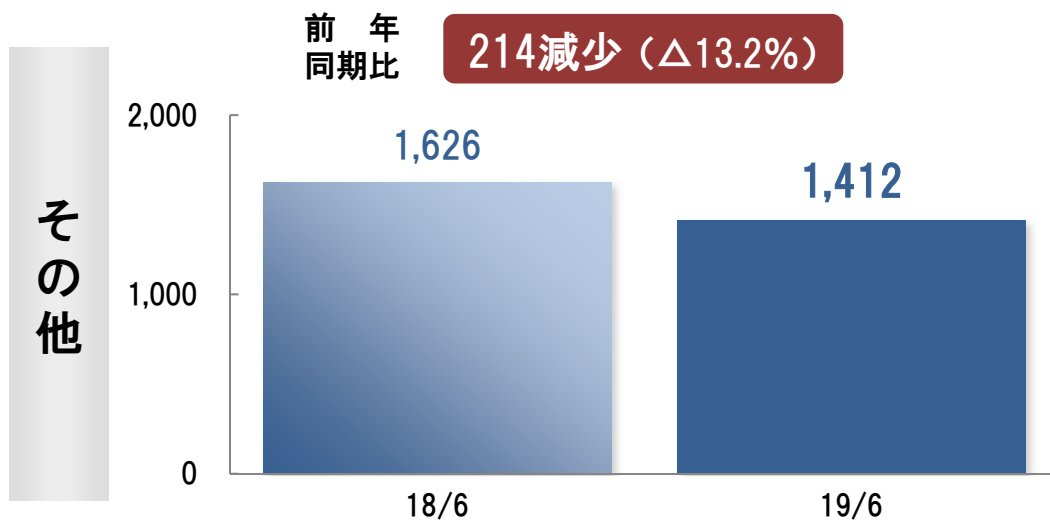
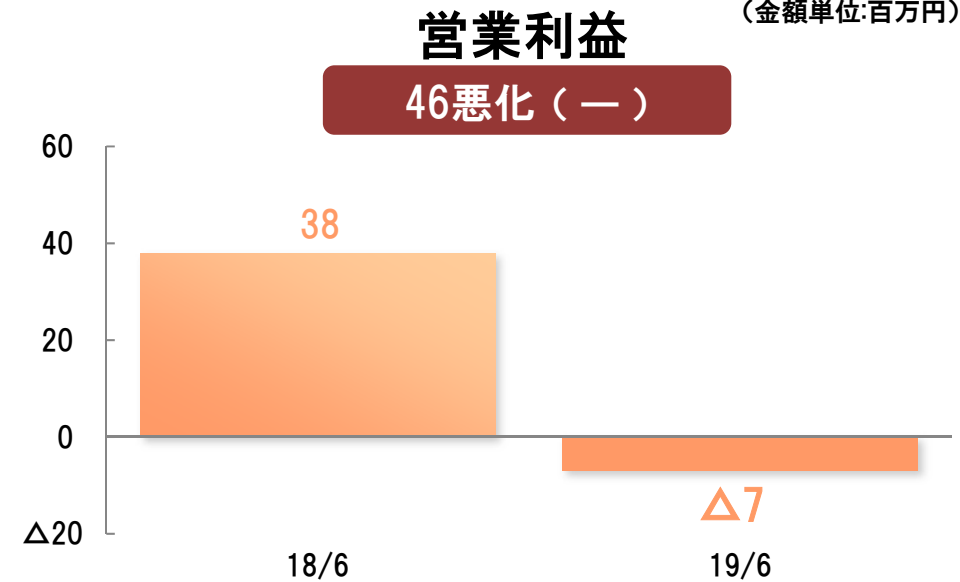
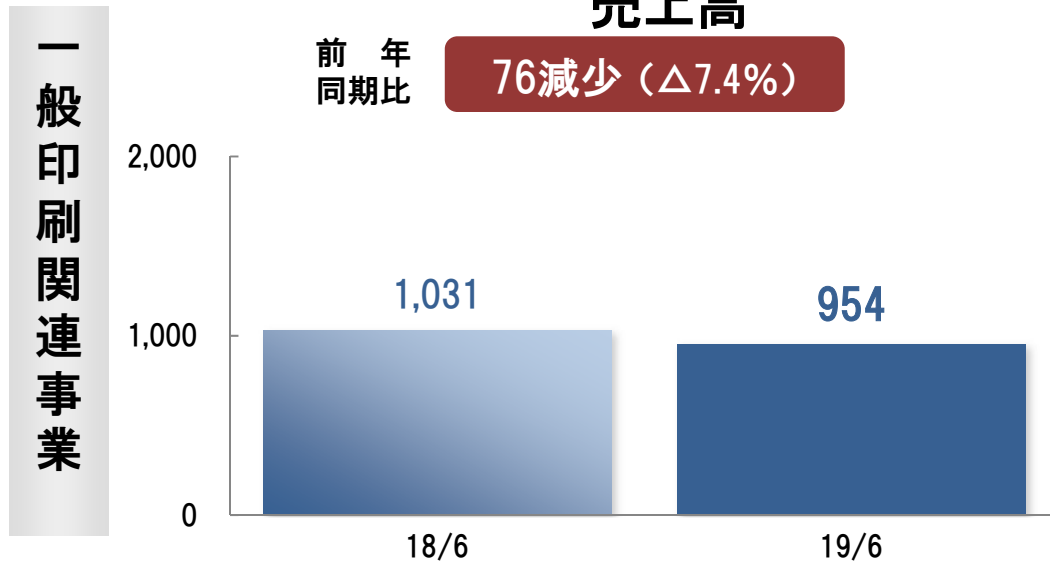
※当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

前年同期比較については、地図データベース関連事業、その他事業の前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しています。



# 1-4)一般印刷関連事業・その他

(金額単位:百万円)

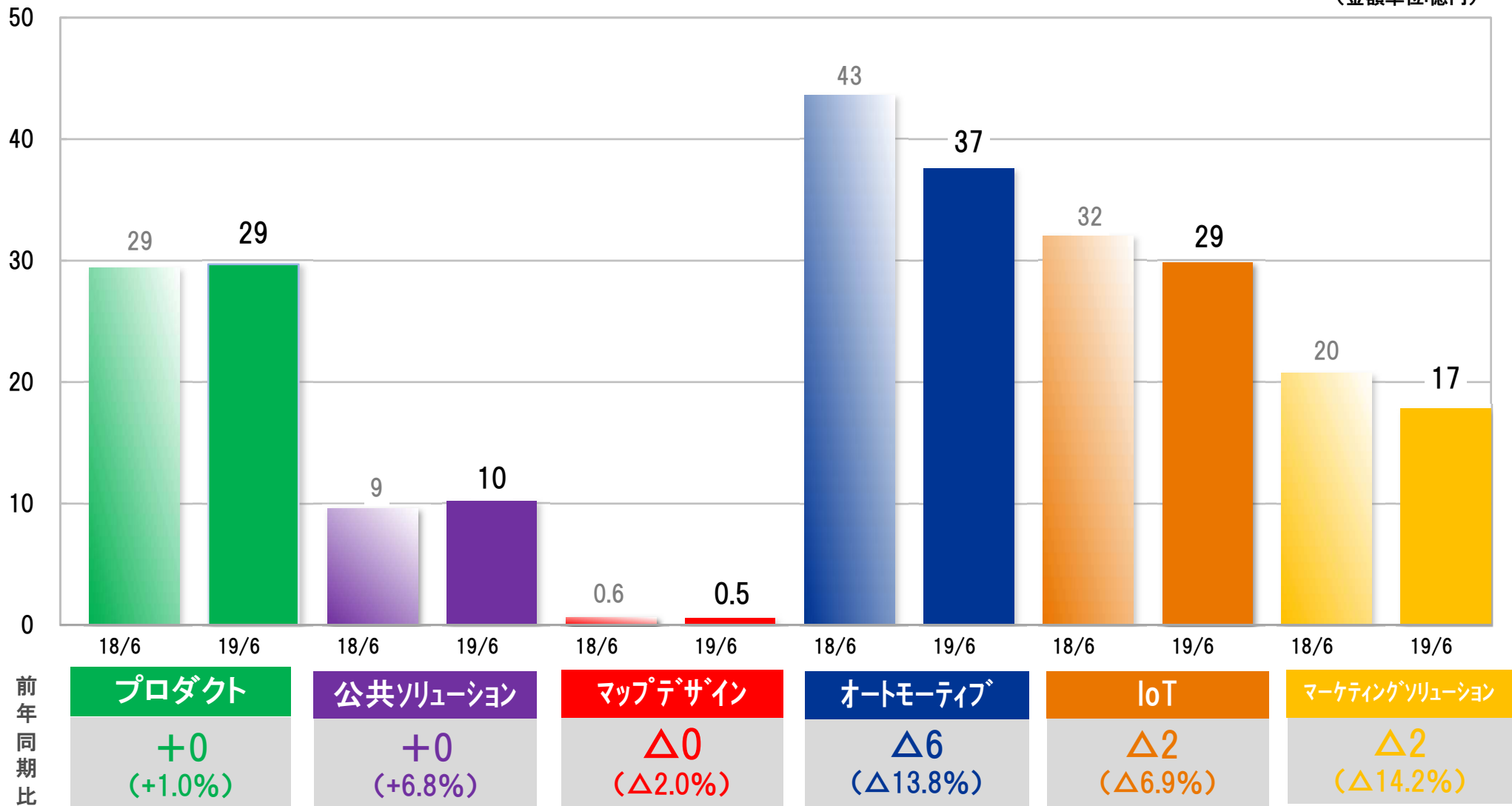


※当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

前年同期比較については、地図データベース関連事業、その他事業の前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しています。

# 1-5) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

(金額単位:億円)



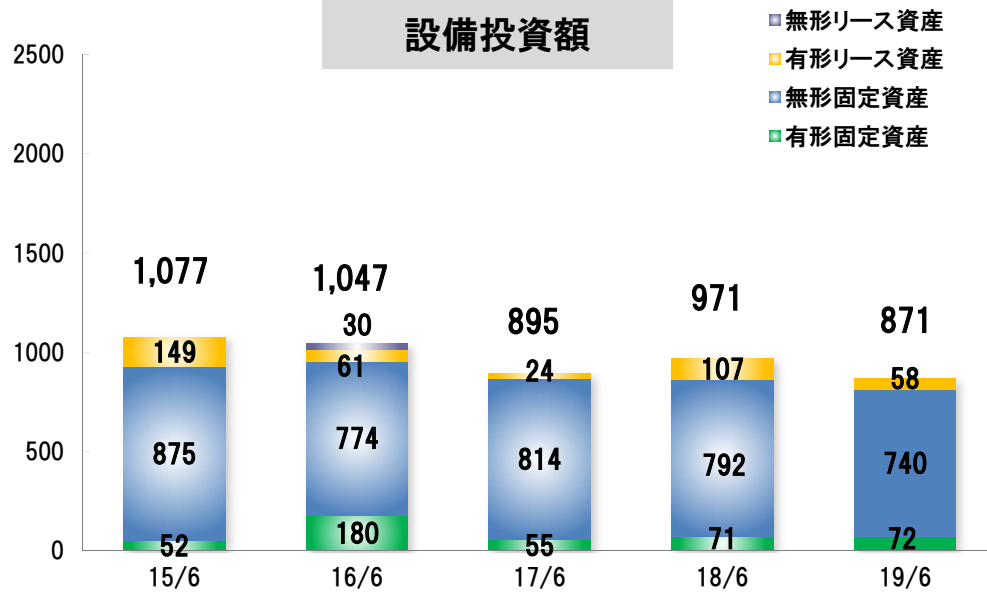
## 2. Appendix

- 1) 2020年3月期 第1四半期決算概要  
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 2) 業績予想(4月26日公表値から変更なし)
- 3) ZGP25 1stステージ 数値目標
- 4) 四半期売上高構成比推移
- 5) 事業トピック

# 2-1) 第1四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

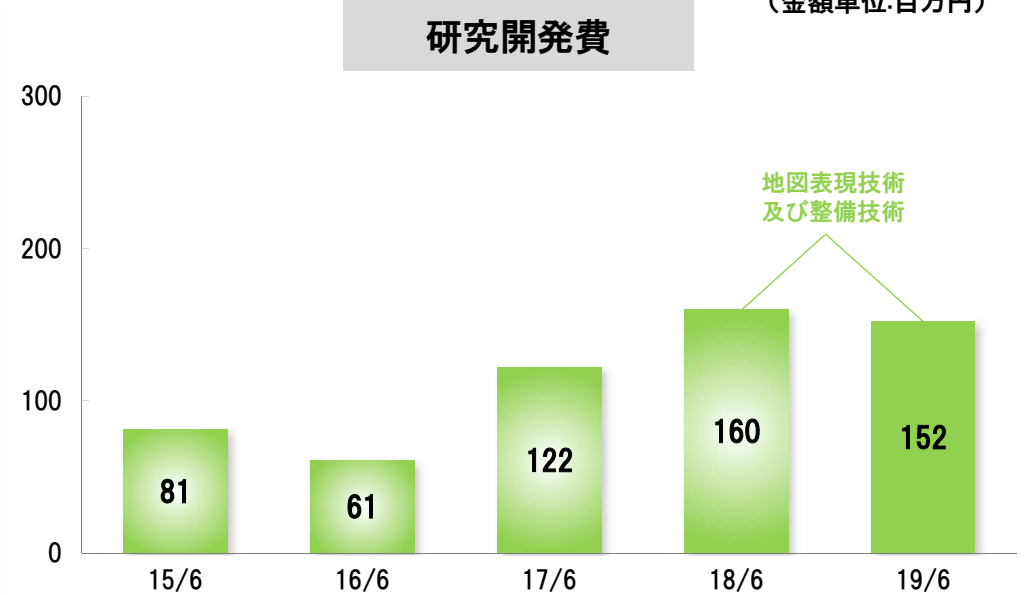
2020年3月期 第1四半期連結決算

### 設備投資額

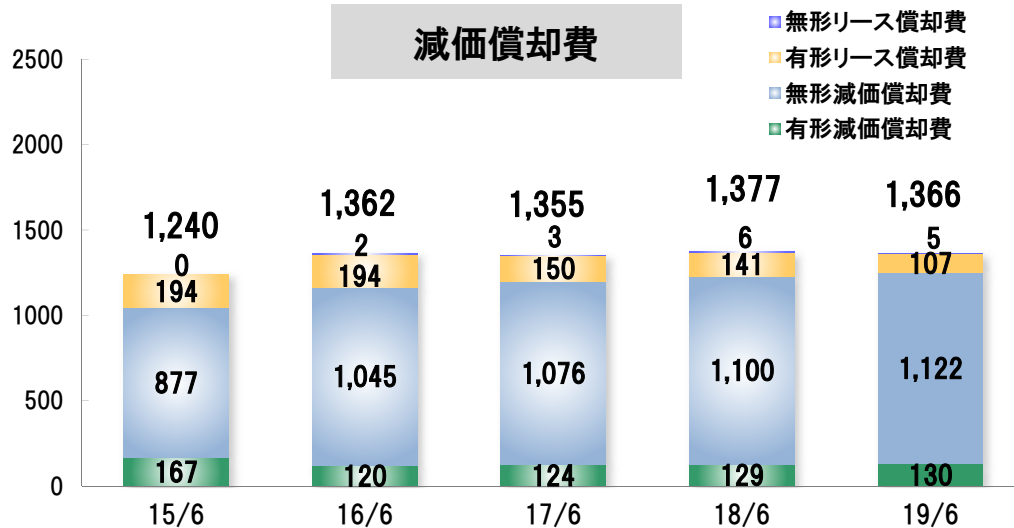


### 研究開発費

(金額単位:百万円)



### 減価償却費



## 2-2)業績予想(4月26日公表値から変更なし)

従来より当社グループの業績は季節的変動が著しく、売上・利益共に第4四半期に集中する傾向

(金額単位:百万円)

### 2020年3月期 第2四半期業績予想

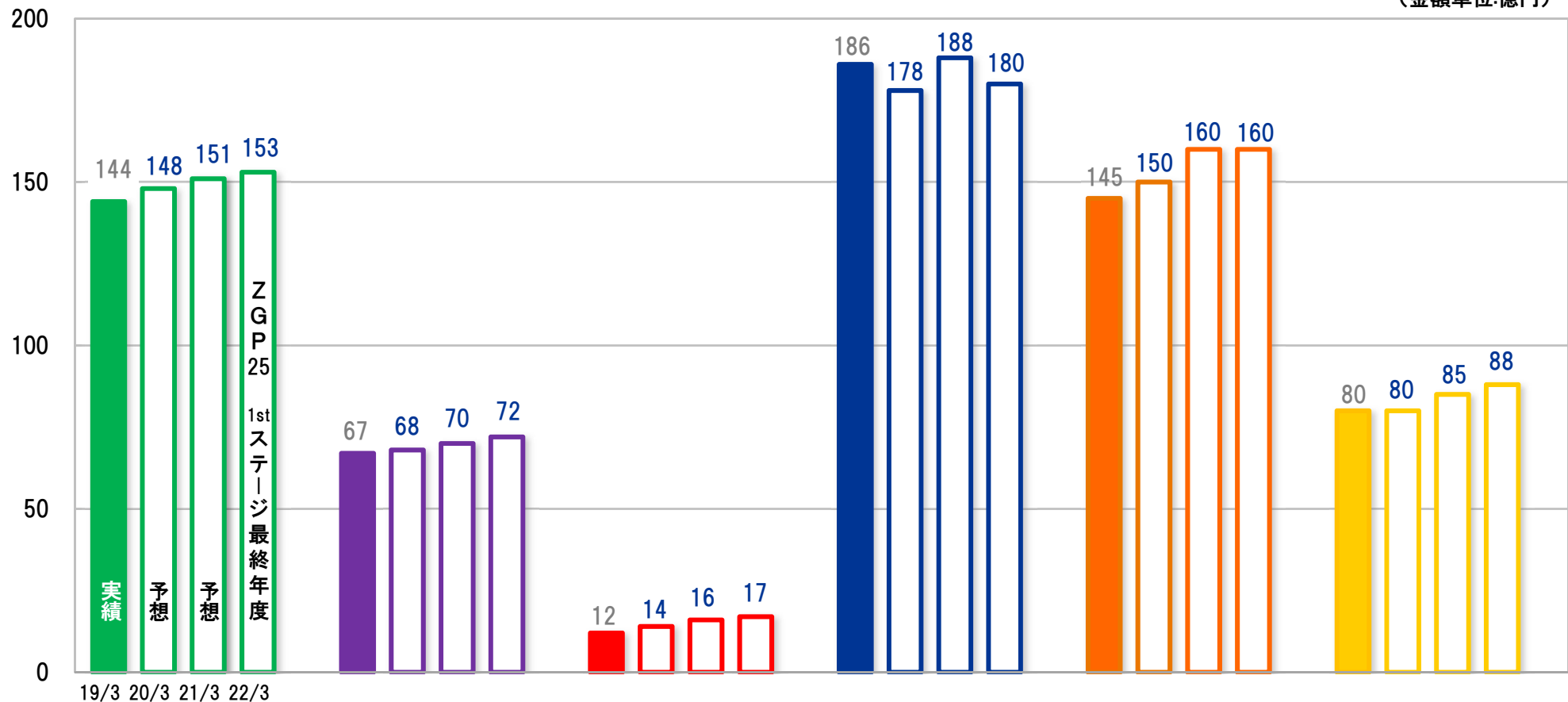
	2019年3月期 Q2実績	2020年3月期 Q2予想	前年同期比	増減率(%)
売上高	28,168	27,800	△368	△1.3
営業費用	27,429	27,800	370	1.4
営業利益	738	0	△738	△100.0
営業利益率	2.6%	—	△2.6pt	
経常利益	977	0	△977	△100.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	587	0	△587	△100.0

### 2020年3月期 通期業績予想

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	63,747	63,800	52	0.1
営業費用	57,923	57,900	△23	△0.0
営業利益	5,824	5,900	75	1.3
営業利益率	9.1%	9.2%	0.1pt	
経常利益	6,200	6,300	99	1.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,206	4,000	793	24.7

## 2-3)ZGP25 1stステージ 数値目標

(金額単位:億円)



19/3

↓

20/3

プロダクト

+3  
(+2.2%)

公共ソリューション

+0  
(+0.0%)

マップデザイン

+1  
(+16.5%)

オートモーティブ

△8  
(△4.5%)

IoT

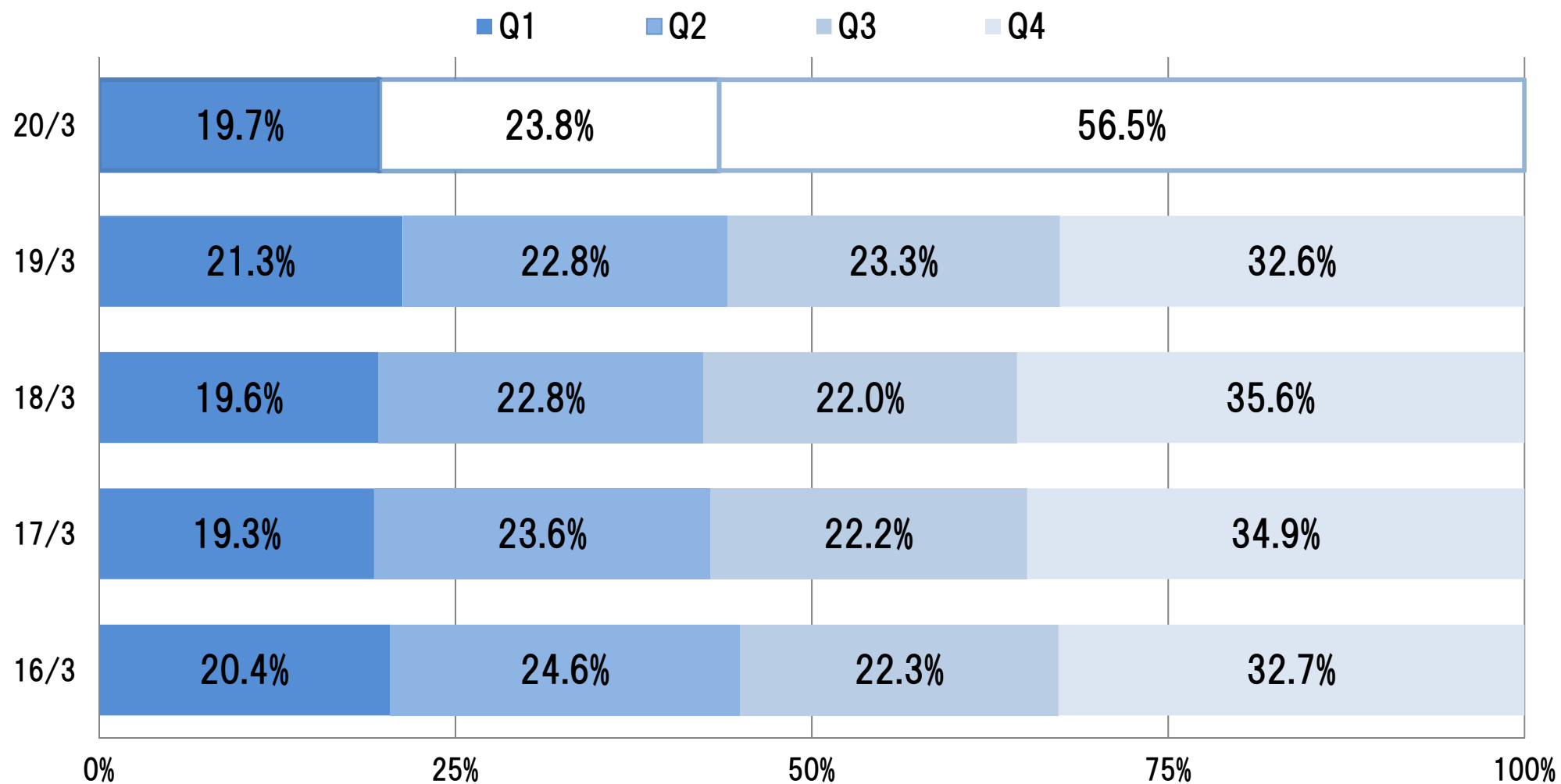
+4  
(+2.7%)

マーケティングソリューション

△0  
(△0.3%)

## 2-4)四半期売上高構成比推移

2020年3月期 第1四半期連結決算



## 2-5)事業トピック (当社グループの主なニュースリリース・お知らせ)

リリース日	タイトル
4月10日	「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」を開始
4月18日	ゼンリンの詳細地図、経度緯度変換、統計データをワンストップで提供する「Tableauマップソリューション」をリリース (ZDC/ZGI)
4月25日	スマートフォンやモバイルに関するあらゆるソリューション・サービスの日本最大級の専門展モバイル活用展 2019に出展 (ZDC)
5月17日	ゼンリンの「3D高精度地図データ」が日産自動車の世界初 インテリジェント高速道路ルート走行(3D高精度地図データ搭載)「ProPILOT 2.0」に採用
5月28日	新型「キャデラック CT6」の車載ナビゲーションシステムにゼンリンデータコムナビゲーションアプリが採用 (ZDC)
5月28日	Smart Cityを支える「つなぐ」を実現 カーシェアプラットフォーム「Will-MoBi」を10月にリリース (WST)
5月29日	ゼンリン住宅地図で配達員の荷物管理をサポートする配達業務効率化サービス「配達アプリ」が、IT導入補助金対象サービスに登録 (ZDC)
6月11日	ゼンリンデータコムとライナロジクスが、宅配物流事業の課題を解決する『モビリティプラットフォーム』を展開 (ZDC)
6月12日	TOFセンサによる屋内位置測位と画像認識技術を用いた「接客行動の可視化・分析」の実証実験を実施しました (ZDC)
6月14日	『JAPAN MAP 19』メディア版本日発売
6月20日	『地図作りで発見！まちたんけんキット』発売
6月26日	ゼンリンデータコム・JR九州・西鉄・福岡市交通局が『歩きスマホ防止キャンペーン』を実施 (ZDC)
6月28日	同一空域・複数ドローン事業者のための運航管理システムのAPI仕様書を公開
7月1日	株式会社リースシステム企画の株式取得(子会社化)のお知らせ (ZDC)
7月17日	AIの信頼性に関する技術開発事業で新たに8件のテーマを採択 (NEDOよりプレスリリース <a href="https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101155.html">https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101155.html</a> )
7月19日	Mapbox社がゼンリンの地図データを採用
7月19日	自治体向け道路附属物維持管理システムを開発、日光市と実証試験を実施 (ZDC)

※詳細は当社ホームページをご覧ください(<https://www.zenrin.co.jp/information/index.html>)

※ZDC:(株)ゼンリンデータコム ZGI:(株)ゼンリンジオインテリジェンス WST:(株)Will Smart



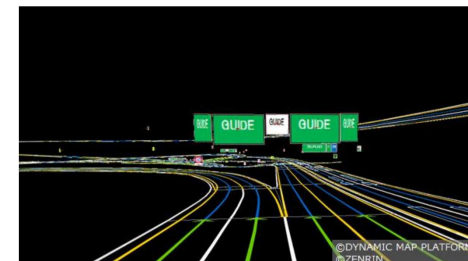
### AM 当社の「3D高精度地図データ」が、日産自動車㈱の「ProPILOT 2.0」に採用（5月17日）

当社が整備・提供する「3D高精度地図データ」が、日産自動車㈱の世界初インテリジェント高速道路ルート走行(3D高精度地図データ搭載)「ProPILOT 2.0」に採用されました。今後も当社は、高度なモビリティ社会の到来を見据えて研究開発・用途開発を進め、正確で利用価値の高い地図情報、位置情報を整備・提供することで、安全・安心な交通社会の実現と自動運転技術の発展に貢献することを目指します。

＜「3D 高精度地図データ」のイメージ＞  
当社の 3D 高精度地図データにより、  
高速道路の細かな道路形状を  
事前に把握することができ、  
車両速度の制御やレーンごとの  
走行ルートの計画が可能に。



高速道路 JCT の整備イメージ



高速道路分岐の整備イメージ

### AM 新型「キャデラック CT6」の車載ナビゲーションシステムに㈱ゼンリンデータコムが採用（5月28日）

㈱ゼンリンデータコムが提供するナビゲーションアプリが、ゼネラルモーターズ・ジャパン㈱が導入する新型車キャデラック CT6の車載ナビゲーションシステムに採用されました。

「キャデラック CT6」に搭載されるナビゲーションシステム「クラウドストリーミングナビ」は、ナビ情報をオンデマンドで取得する完全通信型ナビアプリです。車載側での地図更新が不要で、㈱ゼンリンデータコムのサーバーソリューションにより、常にカーナビ用の最新の地図情報を表示し、車速パルスやジャイロセンサーを用いて行う自律航法とマップマッチングを行うことで、トンネルなどGPS受信や通信補足ができない場所でも正確な自車位置を表示することが可能です。

### PR ㈱リースシステム企画の株式取得(子会社化)（7月1日）

㈱ゼンリンデータコムは、リース専用パッケージシステムの販売・保守を手掛ける㈱リースシステム企画の株式を取得し、2019年7月1日付で子会社化いたしました。

今回の子会社化により、㈱ゼンリンデータコムは、㈱リースシステム企画とともに、その顧客である一般リース事業者、オートリース事業者を通じて、法人向け物流機器や産機、建機の位置情報分析ソリューション、車両運行管理サービスの提供などを推進してまいります。

またリースシステム企画は㈱ゼンリンデータコムの子会社化による信用力・営業力を上げる事によりリースシステム事業の強化を図ってまいります。

### IoT 同一空域・複数ドローン事業者のための運航管理システムのAPI仕様書を公開（6月28日）

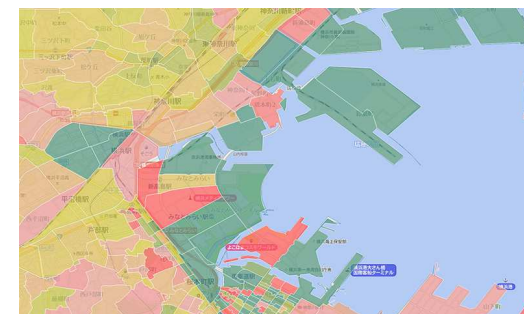
NEDO、日本電気(株)、(株)NTTデータ、(株)日立製作所、(一財)日本気象協会と当社は、福島県と南相馬市、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構の協力のもと、南相馬市復興工業団地内の「福島ロボットテストフィールド」(福島県南相馬市・浪江町)における、同一空域で複数事業者のドローンが安全に飛行するための運航管理システム相互接続試験の環境整備に向けて、運航管理システムのAPI(アプリケーション・プログラミング・インターフェース)の仕様書を、公開しました。APIを利用することにより、NEDOプロジェクトに参画していない国内外のドローン事業者でも、福島ロボットテストフィールド内で運航管理システムとの相互接続試験を行うことが可能となります。

### IoT NEDOのAIの信頼性に関する技術開発事業で当社の研究開発テーマが採択（7月17日）

NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)は、人工知能(AI)の信頼性に関する技術開発事業で、新たに8件の研究開発テーマを採択し、当社が委託予定先のひとつとして選定されました。思考過程が不透明なAIの学習結果や判断根拠を人に理解しやすい形で可視化するAIの基盤技術構築に向けた「説明できるAI」の先導研究のひとつとして、当社と国立大学法人大阪大学の共同研究テーマ「画像認識AIの誤認識の原因を説明する技術の研究開発」が採択されました。

### MS ゼンリンの詳細地図、経度緯度変換、統計データをワンストップで提供する「Tableau マップソリューション」をリリース（4月18日）

(株)ゼンリンデータコムと(株)ゼンリンジオインテリジェンスは、Tableau Japan(株)が販売しているBIツール「Tableau」で簡単に地図を使った分析ができる「Tableau マップソリューション」をリリースしました。Tableauは、世界で86,000を超えるお客様が使用しているデータ分析プラットフォームです。Tableauでエリアマーケティングをしたいというお客様のニーズにお応えし、分析に必要なツール群・データをワンストップで提供します。



統計データ配信画面イメージ

# ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>  
コーポレート本部 経営管理・IR部  
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp